

営業と売店への強制配転攻撃粉碎

国鉄「分割・民営化」阻止ノ三里塚二期着工粉碎!

5・17三里塚へ大結集し 当局の組織破壊攻撃へ

動労千葉破壊に躍起となつてゐる千葉運行部は、五月八日以降、駅、直営売店への配転の事前通知を強行した。強制配転者三六名中二一名が動労千葉の組合員であることを見ても明らかとなり、明確な動労千葉破壊の攻撃であり、絶対に敵の狙いを打ち砕いて闘いぬかなければならない。その突破口をなす5・17三里塚へ全力で結集せよ。

半数以上が動労千葉組合員

五月八日、千葉運行部が強行した配転の事前通知とは、営業（駅）への配転が二一名、その内動労千葉が十五名、直営売店への配転は十五名で、動労千葉が六名となつており、実に三六名中動労千葉が半数以上をしめてゐる。

また、人選についても、本人の希望を聞くこともなく、一方的に決定し、五月八日以降、事前通知を強行し、十八日には発令するという、全くデタラメな攻撃をかけてきている。

さらに、協約未締結を理由にして、簡易苦情処理さえ行なおうとしないのだ。

このように、労働者を将棋の駒のように扱う当局を絶対に許すな。

切り崩しに失敗した 当局のあせり

今回の攻撃は、この当局と動労革マルが一体となつて加えてきている動労千葉つぶしの攻撃の一環である。

彼らは、「動労千葉にいたら新会社に行けない」とか「売店に行つてみないか」という切り崩し攻撃が完全に破産する中で、今度は強制的な配転で動労千葉の組合員が脱退するか、イヤ気を出して職場をやめてしまうことを狙つてゐるのだ。敵が動労千葉の組合員を目的に、職場を切り崩し、運動場から放逐しようとするならば、

われわれはあくまでも職場にふみとどまり、営業の労働者を動労千葉に獲得することと敵の「期待」にこたえてやるうではないか。

われわれは、一九八五年六月から当局が強制してきた通勤対策業務なる攻撃を、組合員一人ひとりの決起と動労千葉総体の団結力をもつてはね返し、勝利してきた。

この勝利の地平をガッチリ確認し、改めて闘う体制を固めなければならぬ。

5・17三里塚を職場闘争として

当局は、通勤対策や夏季輸送要員として、今後さらに、運転職場から営業へ出そうとしている。われわれは今回の強制配転攻撃と徹底的に闘いぬき、団結を強化することで、差別・選別の強制配転攻撃を許さない体制をつくり出していかうではないか。

そのためにも、5・17三里塚への結集は、当局との力関係を決定する重要な闘いである。職場闘争そのものとして闘いぬこう。

権力・当局・動労革マルの攻撃をはねのけ、5・17三里塚へ!

5・17三里塚集會へ
集合場所 旧成田運転区
時間 10時集合